

日本体育・スポーツ政策学会 第35号

会報

令和8年3月31日 発行

体育・スポーツ政策学のさらなる発展に向けて

齋藤 健司（筑波大学）

昨年に本学会の編集企画によって『スポーツ政策学』（成文堂）が刊行されたことは、体育・スポーツ政策学の進展にとって着実な一歩であり、大変喜ばしいことであった。執筆・編集に長らく関わってこられた多くの会員諸氏の皆様に心から感謝申し上げたい。しかしながら、同書は初学者を対象に見据えた基本書・概説書であり、今後さらなるこの分野の学術研究の水準を発展させていくためには、より専門性や体系性を高めていく必要がある。そのためには、まずこのような体系書を参考にしながらも、各自の研究の位置づけを確認し、さらに各人が個別の研究テーマに挑みながら、その専門的実践的な知見の蓄積を全体として図っていくことが求められるだろう。また、本学会の学会大会や機関誌において、その研究成果を継続的に公表し、研究の質を皆が高めていくことが重要だと考える。

また、令和7年には超党派のスポーツ議員連盟、スポーツ庁、日本スポーツ政策推進機構などが中心となってスポーツ基本法の大改正が行われた。これを受けて、本年は第4期スポーツ基本計画の審議が本格化している。しかしながら、近年の日本の体育・スポーツに関する立法や政策立案の動向を見ると、トップダウン的な政策決定の傾向が強くなり、政策形成過程や政策案の作成過程の透明性が十分に確保されていない場合もある。新たに定められたスポーツ基本法の条文の意味内容についても、これまでスポーツ基本法に係る研究をしてきた私ですらよくわからない部分もあり、政策の説明や周知も現場や関係者に十分に伝わっていないケースも見受けられる。このような状況に鑑みると、今、日本の体育・スポーツ政策に求められているのは、現実の体育・スポーツ政策に関する学術的で客観的な評価や検証が精緻に行えるように政策に関する説明を行政や政治に求めていくことだろう。また、研究で得られた真に客観的なデータやエビデンスを政

策に投入できるようにすることだろう。学会が、行政や政治と情報を共有したり、政策過程に参画したり、客観的で正しいデータや情報を発信していくことが課題となっているのではないだろうか。

これまで、本学会は政治や行政から一定の距離を保ち、組織としては中立な立場をとってきた。各自も各々が研究を行い、各々が政策にかかわってきた感がある。しかし、体育・スポーツ政策における多くの問題や課題を抱えている現在の政策の状況をみると、学会も政策過程に積極的に関り、専門的知見から現実の政策問題に対して対案や解決策、政策提言を行い、社会的な使命や役割を果たしていく必要性が出てきていると考える。そして、そのためには、学会や会員が、個別の研究の範囲にとどまらず、より具体的で実践的な政策をデザインする力や、関係する制度やシステムを体系的総合的に構築する力が求められることになるだろう。体育・スポーツ政策学は、研究と実践と総合を繰り返すことによってさらに発展していくことになるだろう。

《学会大会報告》

日本体育・スポーツ政策学会
第 35 回大会報告

実行委員長 石堂 典秀 (中京大学)

第 35 回大会は 2025 年 12 月 13 日 (土)・12 月 14 日 (日) に、中京大学名古屋キャンパスにおいて開催されました。一般会員 33 名、学生会員 6 名、非会員 7 名 (特別枠 2 名) の計 46 名の参加がありました。大会実行委員会をお引き受けいただきました来田享子氏 (中京大学)、沖村多賀典氏 (名古屋学院大学)、植田真帆氏 (東海学園大学)、内藤正和氏 (愛知学院大学) をはじめ、出雲輝彦理事長、成瀬和弥事務局長、日下知明事務局次長、松畑尚子会計担当理事など、多くの会員の皆様に大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

大会テーマは「スポーツ政策における政策形成過程のあり方 ―スポーツ政策の合理とは―」としました。スポーツ庁設置から 10 年という節目の年に、スポーツ政策の形成過程のあり方についてあらためて議論・検討することは意義

深いものであると考えました。

まず、政策研究の第一人者である真山達志氏 (同志社大学政策学部教授) に「政策の合理性を高めるために―政策科学における『in の知識』と『of の知識』」と題して基調講演をお願いしました。真山教授によれば、政策の合理性を高めるためには、政策が形成されるために必要な知識 (『in の知識』) と政策が決定され実施されるプロセスについての知識 (『of の知識』) が必要とされるのであるが、これまでは専ら EBPM など客観的な指標が注目されてきたが、今後は、政策決定に誰がどのように関わっているのか政策過程の研究も重要となると指摘される。シンポジウムでは、齋藤健司会員、来田享子会員のコーディネートにより「スポーツ政策の決定プロセスの在り方」というテーマで実施しました。まず、大杉住子氏 (スポーツ庁スポーツ総括官・政策課長)、久木留毅氏 (独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター長) にキーノートレクチャーをしていただき、現場の政策担当者の方から有意義なお話を聞くことができました。その後パネルディスカッショ

ンを行い、主要な論点として、スポーツ基本法やスポーツ基本計画といった実際の政策決定プロセスでのネットワークの存在とその意義や、現場における『inの知識』と『ofの知識』の具体化、そして、わが国における政策決定プロセスの課題などについて議論を深めました。



シンポジウムの様子

会員企画セッションでは、桶谷敏之会員による「スポーツ団体ガバナンス強化に関する施策の評価の在り方」が開催されました。今後の「スポーツ団体ガバナンスコード」のあり方、特にスポーツ団体ガバナンス強化に向けた施策のあり方について議論がなされました。



会員企画セッションの様子

学会大会参加報告

津川 日向穂
(奈良女子大学)

日本体育・スポーツ政策学会第35回学会大会にて発表の機会を賜りました奈良女子大学の津川と申します。学会大会での発表は初めてであり、当日は大変緊張しながらの登壇となりましたが、皆様に温かく迎えていただき、今後の研究を深化させる上で大変有意義な経験となりました。

私は、「学校水泳授業における公営プール利用の政策過程—神奈川県海老名市を事例に—」を題目として研究発表を行いました。本研究は、海老名市が全国に先駆けて導入した公営プールを活用した学校水泳授業に着目し、その政策過程を明らかにすることを目的としました。分析にあたっては、政策過程の検討枠組みとして動的相互依存モデルを援用し、市議会および教育委員会の会議録を用いて、政策の構想・決定・実施に至るまでの過程を分析し、当該施策が採用された要因の解明を試みました。

発表後には多くの先生方から貴重なご教示を賜り、大変有意義な時間となりました。なかでも、真山先生よりいただいた「水泳授業の外部委託を政策革新といえるのか」「動的相互依存モデルを本事例にあてはめることは妥当か」とのご指摘は、私自身が十分に検討しきれなかった重要な論点であり、今後研究を進める上で極めて大切な示唆となりました。理論枠組みと事例との整合性、そして本事例の政策的意義をどのように位置づけるのかという課題に、改めて真摯に向き合いたいと考えております。

さらに、学会を通して、多くの先生方や院生

の皆様と直接お話しする機会を得ることができました。研究内容のみならず、研究方法や進路に関する助言まで頂戴し、多様な視点に触れることができました。初めての参加ではありましたが、温かく迎えていただき、本学会大会に参加できたことを心よりありがたく感じております。

最後になりましたが、貴重なご指導・ご助言をくださいました先生方、学会大会の準備・運営にご尽力くださいました関係者の皆様、心より御礼申し上げます。本大会で得た学びとご縁を大切に、今後一層研究に精進してまいります。

学会大会参加報告

川合 みなみ

(同志社大学大学院)

2025年12月13日・14日の2日間にわたり、中京大学・名古屋キャンパスにて日本体育・スポーツ政策学会第35回大会が開催されました。私は一昨年の学生補助を経て、本大会より初めて会員として参加させていただきました。

本大会では「スポーツ政策における政策形成過程のあり方—スポーツ政策の合理性とは」をテーマに、スポーツ基本法改正やスポーツ庁設置10年という節目を背景として、今後のスポーツ政策形成における「合理性」を問い直す機会となりました。まず、一般研究発表(6題)では、同世代の学生による発表に大きな刺激を受けました。続く、シンポジウムでは大杉住子氏(スポーツ庁スポーツ総括官・政策課長)及び久木留毅氏(独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンタ

ー長)より、スポーツ政策現場の実態や課題について貴重なお話をいただきました。

二日目に行われた会員企画セッションでは、桶谷敏之氏(独立行政法人日本スポーツ振興センター/国立スポーツ科学センター)のご企画のもと「スポーツ団体ガバナンス強化に関する施策の評価の在り方」について、パネルディスカッションが行われました。スポーツ団体のガバナンス強化における『Comply or Explain』の評価手法の検討は、非常に興味深いものでした。企業の価値向上を主眼とするコーポレートガバナンスに対し、公共性と自治を重んじるスポーツという異なる性質を把握したうえで、いかにしてこの価値を守りながら実効性のある説明責任を果たしていくべきか。この議論は、今後の日本のスポーツ政策において大きな論点であると改めて痛感いたしました。

本学会を通じ、立場や分野を超えてフラットに議論する重要性を再確認することができました。真山達志氏(同志社大学教授)の基調講演では、「ofの知識」についての解説がなされ、多くの示唆を得ることができました。誰によって、どのように政策が決定され、実施されているのかをより深く検討していくことが、今後のスポーツ政策にとって重要であることをあらためて認識しました。最後になりましたが、本学会大会の準備・運営にご尽力いただいた先生方に感謝申し上げます。

《セミナー報告》

関東セミナー報告

セミナー担当理事 日比野 暢子、谷藤 千香

第4回となる関東地区体育・スポーツ政策

セミナーには、帝京平成大学の馬場宏輝先生をお迎えしビデオ会議アプリ（zoom）にて開催した。参加者は81名であった。テーマは、「中学校運動部活動の地域展開は生涯スポーツ社会実現の好機」とし、運動部活動は確かに、我が国のスポーツの発展に寄与してきたとする一方で、「部活動があったからこそ、我が国の生涯スポーツ社会の実現を鈍らせたのではないか」を論点としてお話し頂いた。セミナー開催趣旨は日下理事に依頼した。ディスカッションは、セミナー担当の谷藤理事が担当した。参加者からは、「地域での取組の好例を知ることができた」「部活動の現状を多角的に考えることができた」等の感想を頂いている。

尚、今回のセミナーより、本学会の認知度向上を目的として、各都道府県のスポーツ振興担当部署代表メール宛てに直接にセミナーの案内を送った。加えて、各都道府県内のスポーツ振興担当部署より各都道府県内のスポーツ団体（競技団体、指導者関係団体等）にもセミナー案内を転送して頂くよう依頼した。実際に参加した81名（所属に関する回答アリは74名）のうち、40名が大学・教育関係者、14名が市町村のスポーツ振興担当関係者、地域クラブや指導者等が13名、その他7名であった。非学会員は28%であった。

〈第4回関東地区体育・スポーツ政策セミナー〉
日時：2026年2月12日(木)13:30-15:00
テーマ：「中学校運動部活動の地域展開は生涯スポーツ社会実現の好機」
講師：馬場宏輝氏（帝京平成大学；「市原市部活動の地域移行に係る検討会議」会長）
方法：ビデオ会議アプリ(zoom)を用いたオン

ライン開催

参加人数：81名

※第1回は2022年度開催、第2回は2023年、第3回は2025年度開催

関西セミナー報告

セミナー担当理事 内藤 正和

関西セミナーは、昨年に引き続き、ビデオ会議アプリ(zoom)を使用して開催した。講師は、体育・スポーツ政策に携わる方だけでなく、多様な分野の方をお招きしている。内容については、まず前半部分で講義いただき、後半部分では、講師と参加者による積極的な議論が行われている。今後も、学会員にとって有意義なセミナーを開催したいと考えている。

〈第1回関西地区体育・スポーツ政策セミナー〉
日時：2025年5月18日(土)15:00-17:00
テーマ：「地域におけるスポーツボランティアの可能性の再考」

講師：田上悦史氏（スポーツコミッションセンダイアドバイザー、スポーツボランティア・ケアサポーター、一般社団法人スポーツ・ラボ仙台理事）

概要：スポーツイベントにおけるボランティアは、大会の盛り上げや機運醸成など大会運営には欠かせない存在である。そこで、スポーツボランティアが定着してきた中で、最新の動向と実践事例を交えながら、スポーツボランティアのための活動内容や支援体制などについて報告いただいた。その後、質疑応答を行った。

方法：ビデオ会議アプリ(zoom)を用いたオンラインのハイブリッド開催

《第36回学会大会案内》

会期：2026年12月5日(土)~12月6日(日)

会場：奈良女子大学

大会テーマ：「スポーツ政策と価値・規範」

《2025年度総会・理事会報告》

※開催順

〈第1回理事会〉

日時：2025年6月14日(土) 10:00~11:30

方法：オンライン会議(zoom)

【審議事項】

- (1) 2024年度第4回理事会議事録(案)について
- (2) 2024年度収支報告(案)について
- (3) 新入会・退会者の承認について
- (4) 2025・2026年度理事役割分担(案)について
- (5) 第35回大会実施計画(案)について
- (6) 学会賞・奨励賞の選考(案)について
- (7) 第4回関東地区体育・スポーツ政策セミナー計画(案)
- (8) JICA 課題別研修支援(案)について
- (9) その他

【報告事項】

- (1) 学会出版企画「スポーツ政策学」について
- (2) 学会誌について
- (3) 会報について
- (4) 関西地区体育・スポーツ政策セミナーについて

- (5) 学会ホームページについて
- (6) 関連団体の情報連絡等について
- (7) その他

〈第2回理事会〉

日時：2025年8月1日(金) 17:30~18:30

方法：オンライン会議(zoom)

【審議事項】

- (1) 2025年度第1回理事会議事録(案)について
- (2) 理事会(2025/6/29 メール審議)議事録(案)について
- (3) 日本体育・スポーツ政策学会 謝金規程(案)について
- (4) 日本体育・スポーツ政策学会 顧問規程(案)について
- (5) 第35回大会開催要項(案)について
- (6) 第4回関東地区体育・スポーツ政策セミナー計画(案)
- (7) 入会希望者及び入退会者について
- (8) その他

【報告事項】

- (1) 学会出版企画「スポーツ政策学」について
- (2) 学会誌について
- (3) 会報について
- (4) 関西地区体育・スポーツ政策セミナーについて
- (5) 学会ホームページについて
- (6) 関連団体の情報連絡等について
- (7) その他

〈第3回理事会〉

日時：2025年10月30日(木) 17:30~19:00

方法：オンライン会議(zoom)

【審議事項】

(1) 2025 年度第 2 回理事会議事録（案）の確認

(2) 会則等の変更について

- 日本体育・スポーツ政策学会会則の一部改正（案）
- 学会大会の開催に関する規程の一部改正（案）
- 顧問規程（案）の修正

(3) 顧問選定（案）

(4) 2025 年度総会及び議案資料について

- 総会議事次第（案）
- 2024 年度総会議事録（案）
- 2024 年度事業報告（案）
- 2024 年度収支決算（案）
- 2026 年度事業計画（案）
- 2026 年度収支予算（案）
- 2025 年度事業進捗報告（案）

(5) 第 35 回大会について

(6) 学会賞・奨励賞の選考について

(7) 新入会・退会者の承認について

(8) その他

【報告事項】

(1) 出版企画（「スポーツ政策学」）について

(2) JICA 課題別研修（「スポーツ行政・振興」）について

(3) 研究誌発行について

(4) 学会ホームページについて

(5) 関連団体の情報連絡等について

(6) セミナーについて〔セミナー担当〕

(7) その他

〈第 4 回理事会〉

日時：2025 年 12 月 13 日（土）11:30～12:15

場所：中京大学名古屋キャンパス 0 号館 0701

教室

【審議事項】

(1) 会則等の改正・制定（案）一括審議・承認の件

- ① 日本体育・スポーツ政策学会会則の一部改正（案）
- ② 会長候補者及び理事候補者選挙規程の一部改正（案）
- ③ 理事会の運営に関する規程の一部改正（案）
- ④ 学会大会の開催に関する規程の一部改正（案）
- ⑤ 編集委員会の運営に関する規程の一部改正（案）
- ⑥ 学会賞および奨励賞に関する規程の一部改正（案）
- ⑦ 顧問規程の制定（案）
- ⑧ 謝金規程の制定（案）

(2) 2025 年度総会議事次第（案）承認の件

(3) 2025 年度総会資料（案）確認の件

(4) 国際シンポジウムへの後援申請

(5) その他

【報告事項】

(1) 2025 年度第 3 回理事会議事録の承認について

(2) 第 35 回大会の開催について

(3) 出版企画『スポーツ政策学』の発行について

(4) 第 4 回関東地区体育・スポーツ政策セミナーについて

(5) 入会希望者及び入退会者について

(6) その他

〈総会〉

日時：2025 年 12 月 13 日（土）12:30～13:30

場所：中京大学名古屋キャンパス 0 号館

0703 教室

【審議事項】

- (1) 2024 年度総会議事録（案）確認の件
- (2) 2024 年度事業報告（案）承認の件
- (3) 2024 年度収支決算（案）承認の件
- (4) 2026 年度事業計画（案）承認の件
- (5) 2026 年度収支予（案）承認の件
- (6) 会則の一部改正（案）承認の件
- (7) 会長候補者及び理事候補者選挙規程の一部改正（案）承認の件
- (8) 理事会の運営に関する規程の一部改正（案）承認の件
- (9) 学会大会の開催に関する規程の一部改正（案）承認の件
- (10) 編集委員会の運営に関する規程の一部改正（案）承認の件
- (11) 学会賞および奨励賞に関する規程の一部改正（案）承認の件
- (12) 顧問規程の制定（案）承認の件
- (13) 謝金規程の制定（案）承認の件
- (14) 顧問の選任（案）承認の件
- (15) その他

【報告事項】

- (1) 2025 年度事業進捗報告について
- (2) その他

〈第 5 回理事会〉

日時：2026 年 2 月 20 日（金）17:30～19:00

方法：オンライン会議（Microsoft teams）

【議事録（案）の確認】

2025 年度第 4 回理事会議事録（案）の確認について

【審議事項】

- (1) 2025 年度総会議事録（案）の確認について

- (2) 第 35 回大会収支報告（案）について
- (3) 第 36 回大会の企画案について
- (4) 2027 年度～2028 年度会長及び理事選出スケジュール（案）について
- (5) 新入会・退会者の承認について
- (6) その他

【報告事項】

- (1) 学会誌発行について
- (2) 会報について
- (3) 学会出版企画について
- (4) 学会ホームページについて
- (5) 関連団体の情報連絡等について
- (6) セミナーについて
- (7) その他

学会誌の原稿募集について

学会誌『体育・スポーツ政策研究』の原稿を募集しております。投稿規定をご確認の上、編集委員会事務局へ、word ファイル形式の原稿をメール添付にてご送付ください。

『体育・スポーツ政策研究』編集委員会事務局

Email：jsppes.edit@gmail.com

びわこ成蹊スポーツ大学 黒澤寛己研究室

《2025 年度新入会員》

【正会員：一般】

松宮智生（東洋大学）

石塚創也（公益財団法人日本スポーツ協会）

神野賢治（富山大学教育学部）

岡村果琳（米子工業高等専門学校）

大江英明（株式会社 Y-TRAINING）

【正会員：学生】

居相良介（筑波大学大学院）
川合みなみ（同志社大学大学院）
津川日向穂（奈良女子大学）
石原唯斗（筑波大学大学院）
堤洗太郎（筑波大学大学院）
宮崎幹仁（筑波大学大学院）

【購読会員】

新入会員なし

（敬称略、所属等はいずれも入会申請当時）

【会員数】

正会員 118名
学生正会員 15名
顧問正会員 6名
合計 139名
講読会員 2件
図書館等賛助会員 4件

《事務局だより》

◇『スポーツ政策学』の刊行について

2025年11月に『スポーツ政策学』（齋藤健司、横山勝彦、真山達志、出雲輝彦編著）が成文堂から刊行されました。多くの会員の皆様に

ご協力いただきましたこと改めて感謝申し上げます。ご担当の授業等で、教科書として採用していただければ幸いです。

◇住所や所属を変更した際のお願い

ご異動等によりご住所・所属・連絡先等の変更がある方は、学会ホームページ「会員情報の変更フォーム」(<https://jsppes.org/enrollment-guidance/renewal/>)にて、早急に届出をお願いいたします。

◇年度会費お支払いのお願い

令和7年度会費、前年度までの未納会費のお振込みをお願いいたします。

【振込先】

郵便振替 口座記号番号：00130-4-561426

加入者名：日本体育・スポーツ政策学会

（電信扱いの場合）

ゆうちょ銀行 店番 019

当座 店名 ○一九店

口座番号：561426（受付金融機関により、先頭に「0」を付ける場合があります）

日本体育・スポーツ政策学会 会報第 35 号

発行日：令和 8 (2026) 年 3 月 31 日

発行人：日本体育・スポーツ政策学会

会 長：真山達志

編 集：理事会広報担当 森浩寿

新井喜代加

事務局：〒305-8574

茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学

成瀬和弥 研究室

Email : contact@jsppes.org